

物流センターの情報システム構築

～流通オムニチャネル / IOT時代の情報システム～

BtoC(通販)の拡大に伴い、BtoB物流(卸・店舗物流)機能に加えBtoC物流機能を持つオムニチャネルセンターが増加しています。しかし、その多くは従来の物流システムで対応し効率的な運用が進んでいません。

また、高齢化・人口減少・現場作業の人手不足を受け、物流現場では労働不足を補完するための自動化とIOT活用の動きも活発になってきています。

このような流通・社会環境の変化を踏まえて、これからの物流センターの情報システムはどうあるべきか！構築する際の留意点は！業務改善との関係などを基礎から解説する講座です。皆様のご参加をお待ちしています。

日程・場所

・2016年6月29日(水) 13:00～17:30

(受付 12:30～)

・日本通運本社ビル 4階 会議室C

東京都港区東新橋1-9-3

◆是非、ご参加ください◆

- ・物流センターの効率化を進めたい方
- ・物流センターの情報システム構築を考えている方
- ・本テーマにご関心をお持ちの方

参加料金

・22,000円(税込)

定員50名(最少開催人数20名)

- ・定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。
- ・参加料金は開催日前日までにお振込みください。
- ・振込み手数料はお客様ご負担とさせていただきます。

◆キャンセル規定◆

キャンセルの場合は、6月21日18時までに事務局にご連絡下さい。それ以降のキャンセルは下記キャンセル料を申し受けます。

- ・6月22日～27日:参加料の30%
- ・6月28日及び6月29日:参加料の全額

お申込みは弊社Webサイトから

www.nittsu-soken.co.jp/seminar

弊社Webサイトからエントリーを行ってください。
エントリー受付後、セミナーの参加証、および請求書を郵送いたします。

カリキュラム

オリエンテーション 13:00 ~ 13:05

1、物流センターの情報システム基礎知識 13:05 ~ 13:55

～WMS・TMSの概論とWMSの解説～

- ・SCMの中におけるWMS・TMSの役割
- ・物流センター情報システムに要求される機能
- ・効率化・精度・リードタイム向上を実現する現場管理機能

2、システム導入前・後の作業標準化と改善 13:55 ~ 14:45

- ・業務プロセス改善とセンターレイアウト設計
- ・作業の標準化と運用フロー見直し
- ・在庫・作業の見える化と分析・KPI設定・改善PDCA

3、BtoB物流システムとBtoC物流システムの解説 14:55 ~ 15:45

- ・BtoB物流システムとBtoC物流システムの解説
- ・オムニチャネルに対応する情報システムとは
- ・IoT・ロボット時代の物流センターオペレーション

4、マーケティングと物流センターの情報システム 15:55 ~ 16:45

- ・売上とリンクしたセンターオペレーション
- ・要求される基幹システム・WMSの機能の変化
- ・ネット時代のCRM=SEO対策と顧客分析

5、最後に 16:45 ~ 17:30

- ・本日のまとめ
- ・ディスカッション&質疑応答

※カリキュラムは変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

講師プロフィール



實藤 政子(さねふじ まさこ) (株)ロジスティクス・システム研究所 主任研究員

九州大学法学部法卒。物流センター立ち上げ支援、WMSのシステム開発および物流改善を中心に活動を行っている。3PL、冷凍倉庫業者、食品製造・卸売業、アパレル業者など、約120センターのコンサルティング・センター構築の実績を持つ。(社)日本ロジスティクスシステム協会認定「ロジスティクス経営士」。著書に、“図解入門ビジネス WMS導入と運用のための99の極意—物流改善、物流効率化「超」実践マニュアル(秀和システム2008/02/10 出版)”がある。

日通総合研究所のプロフィール



1961年(昭和36年)創立の物流・ロジスティクスに関わる総合シンクタンク。高い専門性、豊富な経験、独自のノウハウで、物流・ロジスティクスに関する研究、調査、コンサルティングを行っている。また、近年は、物流・ロジスティクスに関わる人材の育成・教育事業に力を入れている。

株式会社 日通総合研究所

〒105-8322 東京都港区東新橋1-9-3
TEL:03-6251-3279 FAX:03-6251-6450
事務局担当: 山内